|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）　火災発生時の対応** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 火災が発生したときの初期消火の仕方を知る。 | 2) | 火事を見つけたときは大声で「火事だ」と叫ぶ。 | ☆ | 行 |  |
| ③ | 火災が発生したときの初期消火に必要な準備物について知り揃えておく。 | 1) | 消火器。 | ☆ | 行 |
| ④ | 火災が発生したときの避難の仕方の基本について身に付ける。 | 2) | 服装や持ち物にこだわらずできるだけ早く避難する。 | ☆ | 行 |
| 6) | 学校や人がたくさん集まる場所で火災に遭遇したときの避難の仕方「お・は・し・も」を知る。(おさない，はしらない，しゃべらない，もどらない） | ☆ | 行 |
| ⑤ | 大きな建物などでは，普段から避難経路を確認することの大切さを知る。 | 1) | 大きな建物には誘導灯が設置されている。 | ☆ | 行 |
| 2) | 火災の時は停電になり，暗い中で避難する場合もあるので，誘導灯を頼りに避難する。 | ☆ | 行 |
| 3) | 避難経路の確認とともに，緊急放送に注意して，適切な避難行動をとる。 | ☆ | 行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

※視覚，聴覚，肢体不自由，病弱の各障害のある児童生徒等については，幼少中高の各時期に準ずる

※特支の欄は，知的障害のある児童生徒等を対象とし実態に応じ☆印の項目を取り扱うこととする。さらに，取り扱う項目から発展的な学習にも配慮し指導にあたるものとする。

　凡

　　　　　　　　　　　　例